

目 的

このガイドラインは新型コロナウイルス感染症を踏まえた中頭地区主催・共催大会の実施に関して、大会主催者において、参加者に対して感染症予防を持続的に行うための「新しい生活様式」の徹底を促す事により、一人一人が対策を行い安全に大会が運営できることを目的とする。

2 適用期間

大会名：中頭地区中体連主催・共催大会

適用期間：令和3年1月13日（水）から令和3年3月31日まで

※県内での新型コロナウイルス感染の広がりや、新型コロナウイルスに関する国の指針等を踏まえ、段階的に本ガイドラインの見直しを行うものとする。

3 大会開催実施についての方針

*大会開催の判断基準を設け、沖縄県教育委員会から発出される地域の感染レベルに基づき大会開催1週間前に判断する事を原則とするが、感染状況によっては、大会前日までの判断になることもある。(津堅中参加種目は2日前まで)また、開催地域の感染レベル引き上げに伴い、大会開催が困難な場合には大会場の変更もあり得る。

地域の感染レベル	大会開催の判断
レベル1の場合	・大会の開催に向けて準備を進める。(通常開催を検討する)
レベル2-① 2-② 3-①の場合	・規模縮小(大会役員・登録選手のみ・無観客等)や競技内容、開閉会式の中止等を検討しながら開催に向けての準備を行う。
レベル3-②の場合	・大会を延期または中止を検討する。
レベル3-③の場合	・大会を中止する。

①3密(密閉・密集・密接)を可能な限り作らない環境を計画、準備し大会運営にあたる。

②大会参加を予定している者(生徒・保護者・運営者)において、発熱症状、咳込み、倦怠感、頭痛、味覚異常、その他体調不良がある場合は参加を行わない。

また、自校地域の感染レベルが③-2以上である場合には大会参加を見合わせる。(大会要項の参加基準も参照)

③非接触式の体温計が入手困難であることを踏まえ、大会参加者においては、自宅で必ず検温を行うことについて、開催通知・参加心得等を通じて周知徹底し、検温をしていない者の参加は認めない。

④会場入場者を制限する。登録選手(マネージャーを含む)と学校職員、コーチ、部活動指導員と熱中症対策係、撮影係の2名の保護者のみの入場とする。事前に各顧問から健康状態申告書を受け取り、申告書を記載の上当日顧問へ提出。顧問からIDを受け取り、会場入りをする際には係へ提示する。

*会場内ではIDを常に掲示すること。(但し、試合時の生徒を除く)

*その他の部員や保護者の観戦に関しては、地域の感染状況に応じて判断する。

- ⑤観戦する保護者に対してコロナウイルス感染予防のための協力に関する呼びかけ（お知らせ）を前もって配布する。
- ⑥各会場に接待係を置かない。新たに「感染症予防係」を設置し、予防に関する業務を行う。
- ⑦審判・役員は、各自で弁当・飲み物を用意し、ゴミは各自で持ち帰る。
- ⑧身なりチェックを行わない。各チームで中体連規則を遵守し参加させる。
- ⑨各競技において専門部は審判・役員の連絡先の把握、各学校の顧問においては参加生徒・保護者の連絡先を把握し、緊急連絡体制を確立する。
- ⑩本大会へ参加を予定している者が大会開催14日以内に感染者数が著しく増加している都道府県への訪問があった場合、参加はできないものとする。
- ⑪今後のコロナ情勢に変化が生じ難しいと判断された場合、やむを得ず大会中止もあり得る。

【選手、応援団に関すること】

- ①選手については、試合の前後に手洗いや消毒を充分に行う。使用する用具については試合前後に消毒を行う。
- ②各選手は、マイボトル（ペットボトル可）を準備する。チームで共有するスクイズボトルは使用しない。また、マイボトルやタオルなど個人が使用する持ち物は、チームでひとまとめにせず、生徒個人で管理をする。
- ③試合前後にコーチや審判、選手同士の握手などの接触行為を行わない。
- ④選手はウォーミングアップ・ゲーム中以外はマスクを着用する。
- ⑤応援団は、マスクを着用し観戦する。大声を出しての応援や鳴り物等を使つての応援は禁止とする

4 感染防止の為の方策

- ①屋内会場入り口では、アルコール消毒液もしくは次亜塩素酸除菌液を設置し手の消毒を励行するが、その量に限りがあるため、各チームまたは個人（保護者含む）での準備を行う。
- ②屋内競技においては、窓を開け常時換気を行う。
- ③屋内競技における観客数は、試合が行われるチームのみ（競技によって多少変更あり）とし、試合ごとに観客を入れ替える。また、観戦中の保護者においては、ソーシャルディスタンス・手洗い・水分補給等、会場アナウンスで協力の呼びかけを行う。また、試合終了後は、速やかに館内から退出できるように運営を工夫する。
- ④屋外競技においても、ソーシャルディスタンス・手洗い・水分補給等の協力を屋内競技同様アナウンスで協力を求める。
- ⑤大会終了後は、各専門部において使用した用具や会場を可能な限り消毒を行う。その際の消毒に係る予算は中体連から支弁する。
- ⑥会場入場直前にもチームで検温を実施、非接触型体温計が準備できる専門部においては可能な限り会場入口での検温を併せて実施する。

- 5 資料① 大会開催における感染症の対策の類型 別紙
- 資料② 健康状態申告書（例） 別紙

健康状態申告書 (令和3年 月 日 提出)	
①学校名：	②競技名：
③氏 名：	④住 所：
③緊急連絡先	
④メールアドレス	
⑤当日の体温	
⑥風邪症状	あ り ・ な し
⑦14日以内の発熱・感冒症状での受診や服用	あり・なし
⑧感染が拡大している地域への14日以内の訪問歴	あり・なし
※1 収集した個人情報は、目的達成のために利用し、法令に基づく場合または本人の同意がある場合を除き、他に利用及び提供することはありません。 2 参加者に感染者が出た場合における保健所の聞き取り調査への協力をお願い致します。 3 濃厚接触者となった場合は、14日間を目安に自宅待機をお願いすることがあります。	

提出の流れ： 生徒・保護者 ➡ チーム責任者

*提出が必要な会場の場合は、コピーして A4 サイズの封筒に「学校名」と「提出日時」を記入し、チーム関係者全員分を封入し、会場担当に提出
会場独自の様式がある場合には、それに従うこと。

令和 2 年度 中頭地区中学校体育連盟

大会参加 保護者同意書

今大会参加に関し、参加心得を確認し理解した上で同意致します。

また、大会参加によって万が一感染症に感染した場合でも、中頭地区中学校
体育連盟・各学校に対し一切の責任を問いません。

令和 年 月 日

生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

中頭地区中体連主催・共催大会における感染症対策の類型

①リスクアセスメントとリスクマネジメント		
感染源		自宅で体温を測定し発熱していたら自宅待機 入場者の把握、人数制限 入場時の手指消毒（持ち込み対策）
感染経路対策	接触感染対策	入場時の手指消毒（持ち込み対策） 定期的な手指衛生 環境衛生（手が触れる場所）
	飛沫感染対策	距離（1 m、できれば2 mを離す工夫） 発声の機会を減らす（マスクの着用） 咳エチケット 参加者が接近しづらい動線の設定 集まる場所（昼食場所）の時差利用 同一スペースにいるスタッフ・参加者の制限 こまめな手指消毒の実施
	エアロゾル・ 空気感染	定期的な換気 頻繁に換気
②特徴的なクラスターに対するリスクマネジメント		
感受性と感染源	密閉空間なら換気を良く	換気設備の点検 ※可能な限り2カ所以上の開口部を使用することで効率よい換気の実現
	多数が手の届く距離に集まらない	入館する人員の管理、制限 入退場に時間差を設ける 動線の工夫
	近距離の会話・発声なし	大きな発声をさせない環境→参加者同士の一定距離
その他	食事及び飲み物の持ち帰り（ゴミを出さない） 手指用消毒の準備 トイレの後の手洗いの徹底	
③クライシスマネジメント		
連絡先が確実な参加者名簿の作成 濃厚接触者となり自宅待機要請がなされた場合への備え（事前説明、調整） 参加者の移動記録化（できるだけ乗り合いをさける）		

中頭地区中体連主催・共催大会 参加心得

R3.1

中頭地区中体連としては新型コロナウイルス感染拡大防止対策と致しまして「中頭地区中体連ガイドライン」を作成し学校職員や生徒、部活動関係者への周知徹底と感染拡大防止対策の徹底実施を図っております。つきましては保護者の皆様におかれましても、下記の内容を熟読の上、大会の成功にご協力頂きたいと思います。

- 1 大会参加を予定している者は3密（密閉・密集・密接）を可能な限り作らない環境・取り組みを理解し、大会運営に協力する。
 - ①大会参加を予定している者（生徒・保護者・運営者）において、発熱症状、咳込み、倦怠感、頭痛、味覚異常、その他体調不良がある場合は参加を行わない。
 - ②非接触式の体温計が入手困難であることを踏まえ、大会参加者においては、自宅で必ず検温を行い参加する。検温をしていない者の参加は認めない。
 - ③会場入場者を制限する。保護者は事前に各顧問から健康状態申告書を受け取り、設問に記入の上、各顧問へ提出しIDを受領、大会参加中は常時提示をする。
 - ④健康状態申告書は緊急時に使用し、競技終了2週間後に破棄する。
 - ⑤本大会へ参加を予定している者が大会開催14日以内に感染者数が著しく増加している都道府県への訪問があった場合、参加はできないものとする。
 - ⑥保護者（応援団）においても、マスクを着用し観戦する。
 - ⑦屋内会場入り口では、アルコール消毒液もしくは次亜塩素酸除菌液を設置し手の消毒を励行するが、その量に限りがあるため、各チームまたは個人（保護者含む）での準備を行う。
 - ⑧屋内競技における観客数は、試合が行われるチームのみ（競技によって多少変更あり）とし、試合ごとに観客を入れ替える。また、観戦中の保護者においては、ソーシャルディスタンス・手洗い・水分補給等、会場アナウンスで協力の呼びかけを行う。また、試合終了後は、速やかに館内から退出できるように運営に協力する。
 - ⑨屋外競技については、ソーシャルディスタンスを保ちながら観戦できるよう屋内競技同様アナウンスで協力を求めるので運営に協力する。
 - ⑩ゴミは各自持ち帰りとする。

大会当日の動き

- ①参加心得を確認し自宅で体温測定 ➡ ②体温を健康状態申告書に記載し顧問へ提出
- ③申告書の内容を顧問からIDを受け取る。館内入場の際はIDを提示し入場する ➡
- ④会場においては常時ID掲示、マスク着用 ➡ ⑤IDはその日で顧問に返却する。

＊緊急時に備え健康状態申告書は顧問が大会終了後2週間保管し、適正に破棄します

持ち物 ①健康状態申告書 ②マスク ③消毒用スプレー（除菌シート）等